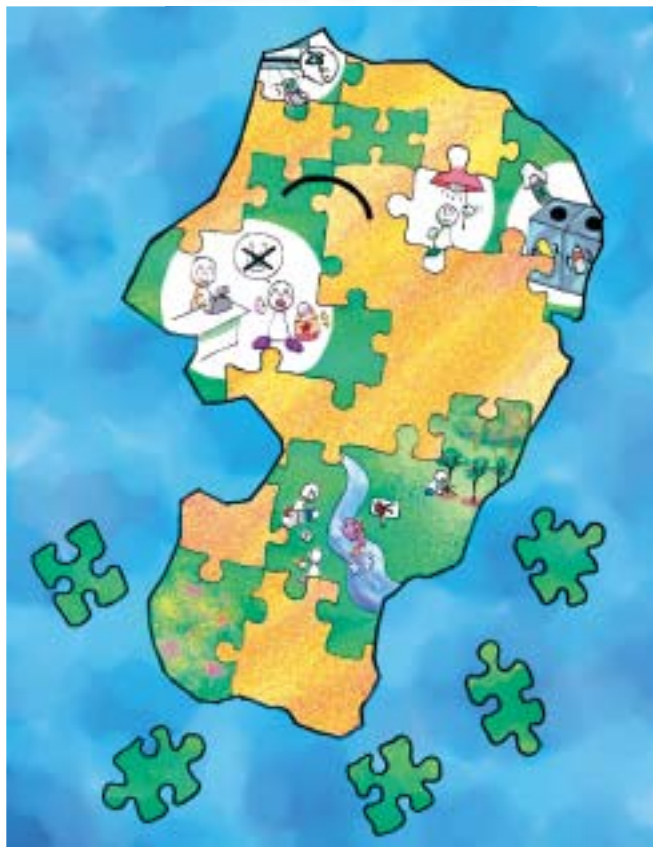


温暖化防止につながる県内の取り組みを紹介します

ストップ温暖化 「エコカップ やまがた2011」 活動事例集



庄司萌梨絵さんの作品

～「エコカップやまがた2011」とは（趣旨）～

地域での地球温暖化防止活動を一層推進するため、山形県内各地域の温暖化防止活動事例を収集し、活動事例発表会や冊子等で広く情報発信することを目的としています。



この事業は、ネットヨタ山形株式会社からの「やまがた社会貢献基金」への寄付を活用し、NPO法人山形県自動車公益センターの支援を受けて実施しています。

御 礼

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2011」実行委員会

委員長 佐藤 五郎



9月1日は、1923年に起きた関東大震災の教訓を忘れることの無いように設けられた防災の日です。しかし2011年3月11日の東日本大震災は未曾有の災害をもたらしました。いやがうえにも明治～昭和の天才物理学者・寺田寅彦の随筆「津浪と人間」が思い起こされます。加えて今回の震災では原子力発電所の崩壊と広範囲におよぶ放射線災害をも引き起こし、科学への信頼が大きく揺らぎました。まさに自然現象が静かに確実に進行し、ある日突然牙をむく典型的な事例であり、地球温暖化現象にも

繋がる点があります。これ以上の温暖化の進行は何としても食い止めたいものです。

今回のストップ温暖化「エコカップ やまがた2011」は諸般の事情からこれまでのような環境省に関わる事業で継続することが困難な状況でした。このようなときに県の社会貢献基金を活用しての事業実施が可能となり、県内各地で温暖化防止に努めておられる団体から82件もの応募を頂きました。あらためて温暖化防止に対する皆様方の熱意と実行力に深く敬意を表するものであります。実行委員会における2段階の書類審査から8団体にプレゼンテーションをして頂き、東京で行われる低炭素杯2012への山形代表に山形県立米沢工業高等学校の「米工ゼロエミッションプロジェクト」を選出しました。温暖化防止に向けた力強いアピールを期待します。今回の事業にあたりネットヨタ山形株式会社様並びにNPO法人山形県自動車公益センター様の御支援、ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。関係各位への御礼といたします。

【ストップ温暖化「エコカップ やまがた2011」実行委員会】

<委員長> 佐藤 五郎（学校法人椎野学園 米沢中央高等学校 副校長）
小谷 卓（鶴岡工業高等専門学校 名誉教授）
桑嶋 誠一（株式会社山形新聞社 論説委員長）
高橋 修（ネットヨタ山形株式会社 代表取締役社長）
高橋 康則（山形県 生活環境部 地球温暖化対策課長）

I N D E X ストップ温暖化「エコカップ やまがた2011」

実行委員長あいさつ、実行委員の紹介	2
目次	3～4
活動地域マップ	5
事例発表会の様子、受賞団体の活動紹介	6～14
活動紹介	15～38
*各団体のページは、以下の一覧をご覧ください。	
事務局の紹介	38
ネットトヨタ山形株式会社の紹介	39

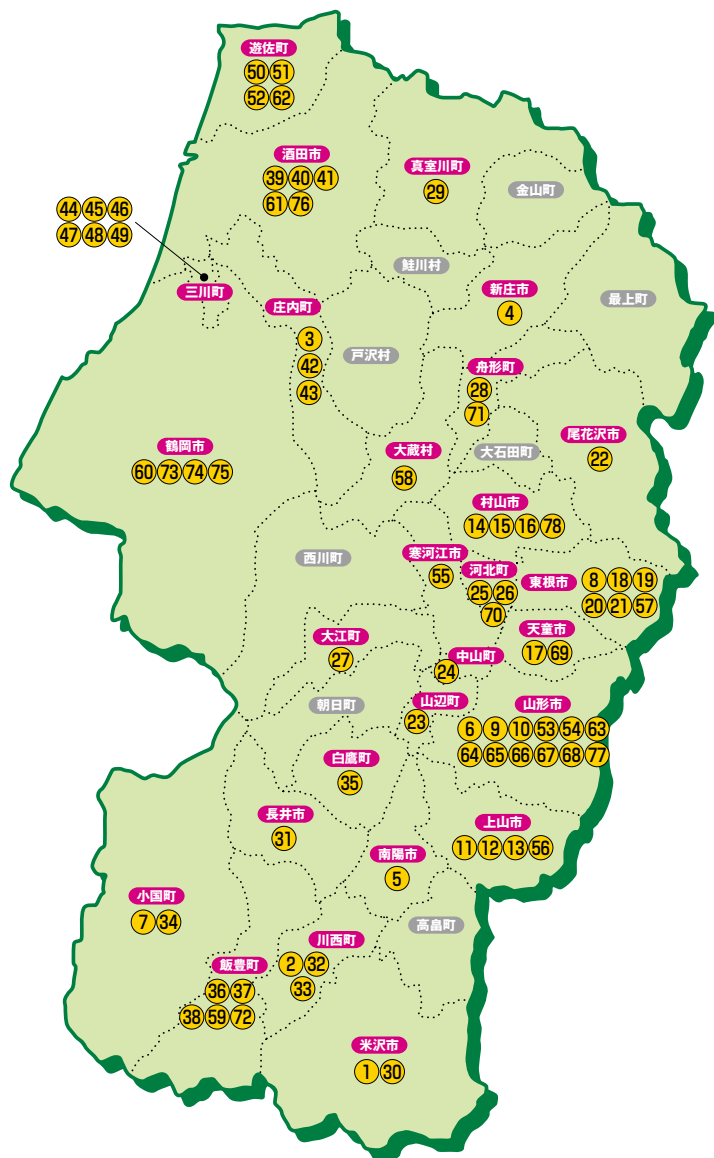
【活動内容一覧（全応募団体）】

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
発表 （受賞） 団体	米エゼロエミッションプロジェクト	山形県立米沢工業高等学校	米沢市	①	7
	遂に完成！食品残さの地域資源循環システム…高校生が地域と 一つになって取り組んだ搾りかすのリサイクル活動…	山形県立置賜農業高等学校	川西町	②	8
	風力発電事業と庄内町町民節電所事業	庄内町・庄内町地球温暖化対策地域協議 会	庄内町	③	9
	小水力発電～山間部の集落に豊かさを～	NPO法人 東北地域エネルギー開発機構	新庄市	④	10
	中津川森と暮らしの学校 山里の暮らし体験塾・もりもり元気塾	NPO法人 美しいやまがた森林活動支援 センター	南陽市	⑤	11
	森林整備活動とエコカップ推進運動	株式会社 山形銀行	山形市	⑥	12
	エネルギーの地産地消を目指して	小国グリーンエナジー合同会社	小国町	⑦	13
	広がれ 光の輪 ～手作りソーラーパネル講座で低炭素社会への啓発活動～	山形県立東根工業高等学校	東根市	⑧	14
行政・ 地球 温暖 化対 策地 域協 議会	「キャンドルスケープ in やまがた」	山形市ほか（東北芸工大学、七日町商店街、 環境ネットやまがた、山形工業高校など）	山形市	⑨	15
	「業務用太陽光発電システム設置事例集」の作成	村山地域地球温暖化対策協議会	山形市	⑩	15
	クリスマスキャンドルナイト イン 上山城	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑪	15
	グリーンカーテンのモデル設置	上山市地球温暖化対策地域協議会	上山市	⑫	16
	燃やせるごみの減量化推進	上山市	上山市	⑬	16
	電気自動車の導入	村山市役所	村山市	⑭	16
	エコアクション21の取り組み	村山市役所	村山市	⑮	17
	太陽光発電システム設置補助事業	村山市	村山市	⑯	17
	地球温暖化防止を目標にした活動とキャンドルナイトの実施や 各種イベントへの参加	天童市地球温暖化対策協議会	天童市	⑰	17
	東根市学校版ISO「さくらんぼ環境ISO事業」	東根市内・小中学校	東根市	⑱	18
	地域版ISOモデル事業	東根市	東根市	⑲	18
	環境週間ひがしね	東根市	東根市	⑳	18
	MBH運動	東根市	東根市	㉑	19
	廃食油回収リサイクル事業	尾花沢市大石田町環境衛生事業組合・尾 花沢市	尾花沢市	㉒	19
	住宅用太陽光発電システムへの補助	山辺町	山辺町	㉓	19
	住宅用太陽光発電システム設置補助	中山町	中山町	㉔	20
	生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業	河北町	河北町	㉕	20
	太陽光発電システム設置補助事業	河北町	河北町	㉖	20
	調理師による小学校の廃食油を利用した石けん作り	大江町教育委員会	大江町	㉗	21
	役場庁舎の温室効果ガス排出抑制と節電の取り組み	舟形町役場	舟形町	㉘	21
	エクスルギータウン真室川町における自然エネルギーによる 環境対策	真室川町	真室川町	㉙	21
	フードマイレージ！地産地消「十割そば打ち教室」	置賜地域地球温暖化対策協議会	米沢市	㉚	22
	ゴーヤのグリーンカーテン	長井市	長井市	㉛	22
	川西町フレンドリープラザ雪冷房システム	川西町	川西町	㉜	22
	住宅用太陽光発電設置補助事業	川西町	川西町	㉝	23
	木質バイオマスエネルギーの活用	小国町	小国町	㉞	23

分類	取り組みの名称	団体名	市町村	マップ 番号	ページ
行政・地球温暖化対策地域協議会	エコドライブ普及を中心としたエネルギー消費量削減の取り組み	白鷹町美しい郷づくり推進会議	白鷹町	③⑤	23
	ベレットストーブ導入促進事業	飯豊町	飯豊町	③⑥	24
	木質ベレット版エコポイント事業	飯豊町	飯豊町	③⑦	24
	協定書締結によるレジ袋の削減に向けた取り組みの実施	飯豊町	飯豊町	③⑧	24
	酒田市住宅用太陽光発電システム普及事業	酒田市	酒田市	③⑨	25
	BDF生成活用事業	酒田市	酒田市	④①	25
	緑のカーテン事業	酒田市	酒田市	④①	25
	庄内町小中学校省エネチャレンジ事業	庄内町	庄内町	④②	26
	キャンドルナイトinしょうない	庄内町地球温暖化対策地域協議会	庄内町	④③	26
	廃植物性食用油の集団回収（BDFのごみ収集車燃料利用）	三川町及び三川町衛生組織連合会	三川町	④④	26
	協定書締結による「レジ袋無料配布の中止」運動	三川町及び町内商店	三川町	④⑤	27
	住民参加型「空き缶回収処理システム」	三川町及び町内会	三川町	④⑥	27
	資源ポストによる、資源リサイクルの推進	三川町及び三川町衛生組織連合会	三川町	④⑦	27
	役場庁舎グリーンカーテン設置	三川町	三川町	④⑧	28
	廃プラスチック卓上油化装置を活用した出前講座（エコ出前教室）	三川町地球温暖化対策地域協議会	三川町	④⑨	28
	風力発電事業	遊佐町	遊佐町	⑤①	28
	遊佐町小中学校フィフティ・フィフティ事業	遊佐町	遊佐町	⑤①	29
	マイクロ水力発電調査事業	遊佐町	遊佐町	⑤②	29
N P O	環境出前教室	NPO環境と食農研究会	山形市	⑤③	29
	無料省エネ診断活動	特定非営利活動法人ビルトグリーンジャパン	山形市	⑤④	30
	CO ₂ 排出削減に大きな威力を発揮するベレットボイラー！	やまがた木質ベレット利用研究会	寒河江市	⑤⑤	30
	BDF精製	社会福祉法人 走翔会	上市市	⑤⑥	30
	庭先発電所～防犯・防災ステーション計画	NPOひがしね	東根市	⑤⑦	31
	ペットボトルの再利用、廃油の活用	四ヶ村棚田はたる火コンサート実行委員会	大蔵村	⑤⑧	31
	「ひまわりを育てて、食と環境・未来を考えよう！」プロジェクト	ふるさと飯豊発見隊	飯豊町	⑤⑨	31
	第6回いのちのコンサート～森と水そして月光のしらべ～	特定非営利活動法人 森と水	鶴岡市	⑥①	32
	地域の子どもたちへの環境学習～こども環境学習ひろば～	庄内環境マネジメント研究会	酒田市	⑥①	32
	小中学校の廃食油を利用したせっけん作り	JA庄内みどり女性部 せっけん研究会	遊佐町	⑥②	32
企 業	本店ビルと小白川支店に太陽光発電設置	山形市農業協同組合	山形市	⑥③	33
	七日町商店街BDF事業	七日町商店街振興組合	山形市	⑥④	33
	家電製品の省エネな使い方及びエコ商品普及	山形県電機商業組合青年部	山形市	⑥⑤	33
	環境に優しい自動車販売・整備事業場	トヨタカローラ山形株式会社	山形市	⑥⑥	34
	高断熱住宅（窓）の普及促進活動	山形県サッシ・ガラス協同組合	山形市	⑥⑦	34
	TUUYエコキャンペーン 地球温暖化&エコ番組「山形エコプロジェクト えこいろ」	TUUY 株式会社テレビユー山形	山形市	⑥⑧	34
	自然エネルギー（太陽光発電）を利用した救援活動や学習会の開催	ソーラーワールド株式会社	天童市	⑥⑨	35
	古紙回収を通じての環境保護活動	港屋商事株式会社	河北町	⑦①	35
	バイオマスを燃料とするボイラーの新設	有限会社 舟形マッシュルーム	舟形町	⑦①	35
	バイオマス燃料の製造販売	中津川バイオマス株式会社	飯豊町	⑦②	36
	「無駄エネZERO委員会」の省エネ活動	田中貴金属工業株式会社 鶴岡工場	鶴岡市	⑦③	36
	継続的省エネ活動取組み	株式会社 山形ケンウッド	鶴岡市	⑦④	36
	地域資源活用リサイクル事業	株式会社 渡会電気土木	鶴岡市	⑦⑤	37
学 校	環境に配慮したホテルづくり	ホテルリッチ&ガーデン酒田	酒田市	⑦⑥	37
	山工ECO活動	山形県立山形工業高等学校	山形市	⑦⑦	37
	ひまわり油できれいでおいしく豊かなエコ生活～1株100花咲くひまわりを創ろう～	山形県立村山農業高等学校 農産技術部	村山市	⑦⑧	38

活動地域マップ

～ どの市町村で活動しているのかな？ ～



※マップの番号と団体名は、「3・4ページ」に記載していますので、ご覧下さい。

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2011」 活動事例発表会

地球温暖化防止の取組みの一層の強化がますます急がれる状況の中、地域における取組みを発表する「活動事例発表会」を開催しました。

平成23年10月29日(土)に山形ビッグウイングで開催した活動事例発表会では、温暖化防止につながる活動を行っている県内団体の中から、2段階の書類選考にて選ばれた以下の8団体の活動事例の発表を行いました。参加者は100名を超え、「事例発表を聞いて参考になった」という声が多数寄せられました。

また、発表団体のうち山形県立米沢工業高等学校には、「エコカップ やまがた大賞」が贈られ、山形県代表として、平成24年2月に東京で開催される低炭素杯2012への出場が決まりました。また、選考委員会では、山形県立置賜農業高等学校の事例と発表が素晴らしく、過去にエコカップやまがた大賞を受賞しているものの、評価すべきとして、NPO法人山形県自動車公益センターから特別賞が授与されました。

発表団体の皆様、ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

【発表(受賞)団体】※発表は各分野ごとに行いました。

①行政や地球温暖化対策地域協議会

◎庄内町・庄内町地球温暖化対策地域協議会（庄内町）

②NPO

◎NPO法人 東北地域エネルギー開発機構（新庄市）

◎NPO法人 美しいやまがた森林活動支援センター（南陽市）

③企業

◎株式会社 山形銀行（山形市）

◎小国グリーンエネルギー合同会社（小国町）

④学校

◎山形県立東根工業高等学校（東根市）

◎山形県立米沢工業高等学校（米沢市）

◎山形県立置賜農業高等学校（川西町）





エコカップ やまがた 大賞

米沢市

米工ゼロエミッションプロジェクト

山形県立米沢工業高等学校 [マップ番号:1]

生徒の「電気自動車を作りたい」との発案をきっかけに、平成20年の秋から電気自動車製作に取りかかった。それに伴い、再生可能エネルギーを利用した発電と蓄電装置の製作、車の格納と充電設備を備えた間伐材による車庫の製作もすることになった。このシステムはCO₂を排出しない理想的なシステムで、これを「米工ゼロエミッションプロジェクト」と称して、校内の技術力を結集して取り組んだ。平成22年12月に完成し、この取り組みを校内発表会や地元イベントで紹介した。また、東京ビッグサイトで開催された次世代自動車産業展に出展するなど、地元はもとより全国的にも広く紹介することが出来た。この活動により、CO₂削減や環境保全の意識が高まることを期待している。

今後は、小中学生を対象にした出前授業や展示を行い、電気自動車や再生可能エネルギーについての理解を広め、CO₂削減に貢献していきたい。





エコカップ やまがた賞
(山形県自動車公益センター賞[特別賞])

川西町

遂に完成!食品残さの地域資源循環システム
…高校生が地域と一つになって取り組んだ
搾りかすのリサイクル活動…

山形県立置賜農業高等学校 [マップ番号:2]

- ①置賜地域内において食品残さを利用したリサイクル飼料（エコフィード）を完成させ、これを家畜に給与して、糞をブドウ農家圃場などに堆肥として還元し、加工用農産物を栽培するという農工一体となった生物資源リサイクルシステムを完成させ、県の認証を受けた。
- ②これまでの合計製造量は30t。食物くずのメタン発生量は154kg-CH₄/tとされているので、温暖化係数（CO₂の21倍）を考えると、 $154 \times 21 = 3234 \text{ kg-CO}_2$ 相当。これにより算出したCO₂削減量は97t。さらに、エコフィード給与により穀物輸入量が減少し、穀物輸送にかかるCO₂削減量（日米間の小麦換算で340kg /t）約10tが付加され、合計約107tの削減効果が明らかになった。（今年10月現在）
- ③県内では搾りかす排出量が数千tあり、これをリサイクルすれば、CO₂削減量は膨大な量になる。また、畜産団体がすすめるエコフィード利用畜産物認証などのブランド化や山形大学工学部との乾燥化プラントの研究も前進している。





風力発電事業と庄内町町民節電所事業

庄内町・庄内町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号:3]

庄内町は、春から秋にかけて東南東の強風「清川だし」、冬期間には北西の季節風が吹くなど年間を通して風が強い町です。その風を地域資源として活用し、全国に先駆けて風力発電に取り組んできました。当初は基幹産業である農業への活用や、町のシンボルとしての導入でしたが、平成14年に地球温暖化問題への対応として、町直営で全長100m、最大出力1500kWの大型風車を建設しました。現在は民間会社を含め8基の風車が稼働し、年間発電量は約1250万kWhを見込み、町全体の年間消費電力量の約12%に相当します。

今年は“節電の夏”といわれ、生活スタイルを見直し省エネ活動に全国的に取り組ましましたが、本町では平成15年より「町民節電所」事業に取り組んできました。これまで1423世帯が参加し約19.8tのCO₂削減につながり、小さな取り組みが大きな成果となり、今後も「地球にも優しく」「家計にも優しい」取り組みの輪が広がることを期待します。





エコカップ やまがた賞

新庄市

小水力発電

～山間部の集落に豊かさを～

NPO法人 東北地域エネルギー開発機構 [マップ番号:4]

水量が豊富な最上地域の発展につながるのではと、川の豊富な水量と落差を利用した水力発電を提案している。

積雪寒冷地域であり豪雪地帯である新庄市土内地区の奥地で、小水力発電が可能であることを実証した。平成22年11月末から23年2月までで発電量は15,936kWhに及び、これはCO₂削減量8.8tの効果があり、原油では200ℓドラム缶19本分もの節約となる。また、懸念された厳冬期の水源枯渇もなく、野菜栽培も十分にできること等が証明された。今回の調査場所は、新庄市でも最も条件が良くない場所であり、ここで良い結果を生み出したことは、小水力発電の実用化可能性に自信を深めることになった。

なお、地域住民に知ってもらおうと、最上公園内に1時間あたり4kWの発電ができる水力発電機を設置した。

水力発電は、ブナ林が豊富で雪が多い東北にはぴったりの発電方法である。二酸化炭素を増やさないエネルギーが新たな雇用を生み出し、若者の地元離れを防ぐのではと期待している。





エコカップ やまがた賞

南陽市

中津川森と暮らしの学校 山里の暮らし体験塾・もりもり元気塾

NPO法人 美しいやまがた森林活動支援センター [マップ番号:5]

1、基本理念はエネルギーを精いっぱい消費する文化から、自然と共生する循環型の生活への価値観の転換を目指し、山村文化の体験と技術の伝承を行う。具体的には、

①循環型の生活や環境を創る森林整備活動。

◎植林活動として6月に1ヘクタールに400本の苗木を植樹。

◎企業の森の活動に参加。年間2000本の植林活動や地ごしらえを実施

◎森の教室として、巨木やブナ林での稚樹のポット育苗の実施。

②人材を育てる活動。

◎草木塔の理念を理解し山村の森林文化を学ぶ。

◎価値観の多様性を知る。

「なんだ、こういう生き方もあるんじゃないか」青年たちに知ってもらいたいことです。

◎山村の生活技術の伝承。

2、活動の規模

年間10回近いプログラムを実施。延べ300人程度の参加。

3、今後の展望

地域とともに、新エネルギーとしての森林を見直し、間伐材や支障木を有効に利活用していくためのボランティア活動のシステムを創る。





エコカップ やまがた賞

山形市

森林整備活動とエコキャップ推進運動

株式会社 山形銀行 [マップ番号:6]

1、森林整備活動～山形県創設「やまがた絆の森プロジェクト」～

(1)ぐるっと花笠の森

平成22年4月から平成27年3月まで、県内4信金と連携し、県内4地域で、植樹や下刈りなどの森づくり活動を行ないます。平成23年度は、延べ430名（当行および信用金庫の役職員）が参加しました。

(2)やまぎん蔵王国定公園の森

平成22年9月から平成29年3月まで、蔵王国定公園の間伐を実施します。平成22年度は森林23ヘクタールの整備を行い、山形県よりCO₂吸収量227.61tの認証をいただきました。

2、エコキャップ推進運動

東北芸術工科大学との連携による「エコキャップ推進運動」を実施しています。地域の皆さまからご協力をいただき、開始から2年3カ月で1,025万個（ポリオワクチン12,812人分）のキャップが集まりました。





小国町

エネルギーの地産地消を目指して

小国グリーンエナジー合同会社 [マップ番号:7]

小国町は東京23区がすっぽり入る広さがあり、その95%が森林である。隣の飯豊町では、バイオマスタウンとして環境省の認証を受け、バイオマスエネルギーが積極的に使われている。この飯豊町の中津川バイオマス工場に、これまで切り捨てられていた小国産のスギ間伐材を持ち込み、ペレットを作ってもらい、小国町や近隣の町村で販売している。

このことは雇用にもつながる。木を切る人、運ぶ人、ペレットを作る人、販売する人まで、地域での雇用が生まれ、地域で資源もお金も循環する仕組みとなる。また、地域材をエネルギーに変えていく、即ち地産地消ができるということは、森林が多い小国町でこそ実現可能なことであり、山形県ひいては日本も他県や他国と比べて森林が豊富に存在する。

最近では、環境に関心がある仲間で、シンポジウムなどの普及啓発を行うことで、それまでペレットストーブを聞いたことすらなかった方達にも広がりが見え、手応えを感じている。地元の小中学校でも講演を行い、エネルギーの流通の仕組みや小国町のペレットの作り方を紹介した。

(2011年には、参画している置賜ウッドエナジー組合としてのプロジェクトが、J-VER制度へ登録された。)





エコカップ やまがた賞

東根市

広がれ 光の輪

～手作りソーラーパネル講座で

低炭素社会への啓発活動～

山形県立東根工業高等学校 [マップ番号:8]

東根工業高校が平成20年から取り組んでいる手作りソーラーパネルは、全校生徒で100枚の製作やモンゴル・バングラデシュへの開発途上国への国際貢献活動など多岐にわたって行われている。

それと同時に大切にしているのが市民参加の公開講座の開催である。地球温暖化防止や低炭素社会への足がかりとして、多くの市民の方々に向けた手作りソーラーパネル製作講座を平成21年6月からこれまで合計12回開催している。参加者は175名を数え、学校内での生徒対象の講座を含めると約800名が受講している。このような体験型の手作り太陽電池パネルは、ただ作るだけでなく、作った後に省エネ意識や地球温暖化への意識の高揚へとつながっている。また、震災復興と再生可能エネルギーの学習を兼ねて、被災地での出前講座も始めている。

これからの社会を支えていく子どもたちの夢と希望のために続けていく活動である。



山形市

キャンドルスケープ in やまがた



山形市ほか（東北芸工大学、七日町商店街、環境ネットやまがた、山形工業高校など）[マップ番号:9]

毎年夏至頃に、文翔館、市役所前広場など、市内数か所で開催しているイベントです。開催日には、ライトダウンを呼びかけ、近隣の小学生が地球温暖化に対する思いを記して手作りした蠟燭立を灯し、映画の上映や楽器の演奏を行うなど、各会場の各実施主体がイベントを開催しています。

山形市

『業務用太陽光発電システム設置事例集』の作成



村山地域地球温暖化対策協議会 [マップ番号:10]

本協議会では、行政と事業者が協力して太陽光発電システムの普及拡大に努めていますが、住宅用に比べて数が少ない業務用の太陽光発電システムの普及を図るため、公共施設や事業所の導入事例について紹介した冊子を作成しました。協議会では今後も、各種の情報提供や勉強会の開催など、再生可能エネルギーの普及に努めていきます。

上山市

クリスマスキャンドルナイト イン 上山城



上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号:11]

（財）上山城管理公社の協力のもと、上山市のシンボルでもある上山城を舞台に地球温暖化防止の啓発活動を行っている事業です。今年度はエコキャンドル作成に市内の各幼稚園等から協力してもらうなど、より広く市民と連携した活動を行ったほか、グリーン電力を活用し経済産業省主催のグリーンエネルギークリスマスにも参加しました。

グリーンカーテンのモデル設置



上山市地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号:12]

冷房効果の向上が期待できるグリーンカーテンの普及に取り組んでいる。市役所壁面で栽培の紹介をするとともに、まちづくりセンター、上山城、らんなゑ事業所でモデル設置を行った。グリーンカーテン講習会やゴーヤの種の無償提供を行うとともに、上山らしいグリーンカーテンをめざして、上山市役所ではユウガオを、まちづくりセンターではフウセンカズラなども栽培した。

燃やせるごみの減量化推進



上山市 [マップ番号:13]

CO₂が増えないよう、焼却するごみを減らすという観点から、次のような取り組みを行っている。「おさがりボックスの設置」は、市内の保育園や子育て支援施設等に「おさがりボックス」を設置し、保護者及び児童から、不要になった衣類を中に入れてもらっている。衣類が必要な方はそこから自由に持ち帰ることができる。「雑紙回収の推進」は、燃やせるごみに含まれる紙ごみを少しでも減らすべく、「雑紙袋」を作成し全戸配布をしている。

電気自動車の導入



村山市役所 [マップ番号:14]

村山市では、県内の市町村で初めて公用車に電気自動車を導入しました。(平成21年11月27日)

走行中、二酸化炭素を全く出さない電気自動車は、環境都市村山市の広告塔として、毎日、各市民センターへの巡回や環境学習等で活躍しています。

村山市

エコアクション21の取り組み



村山市役所 [マップ番号:15]

本庁舎、施設、小中学校など42箇所が、省エネルギーやリサイクルの推進、CO₂の削減について、エコアクション21の認証を受けて、目標を掲げています。

グリーンカーテンの設置や環境教育、美化活動など、各課業務でも環境配慮を行い、市民環境意識啓発にも力を入れています。

村山市

太陽光発電システム設置補助事業



村山市 [マップ番号:16]

村山市では、太陽光発電の導入を支援するため、住宅用太陽光発電システムを設置する方に対して補助金を交付しています。

補助金の額は、住宅用で太陽電池の公称最大出力1kW当り3万円で補助上限は4kW、事業所で補助上限10kWです。平成23年度は11月30現在で27件、130.85kW分補助決定しています。

天童市

地球温暖化防止を目標にした活動とキャンドルナイトの実施や各種イベントへの参加



天童市地球温暖化対策協議会 [マップ番号:17]

春は地球温暖化防止イベント（天童市みどり環境フェア）に参加しています。また、12月にはキャンドルナイトを毎年実施しています。今年度は、エコ紙芝居の作成に取り組みました。

環境問題を伝えていく重要性が強まるなか、今後とも大人も子供も一緒になって参加できるようなイベントを企画していきたいと思っています。

東根市学校版ISO「さくらんぼ環境ISO事業」



東根市内・小中学校 [マップ番号:18]

全小・中学校で学校教育の一環として、児童・職員が一体となり環境保全活動に取り組んでいます。内容は共通項目（省エネ・省資源・リサイクル）と学校や地域の特色を生かした独自項目があります。PTAが審査員として評価を与え、削減できた経費の

半分は学校関係予算に配分しています。また、年1回代表校による活動内容の発表会（実践交流会）を開催しています。

地域版ISOモデル事業



東根市 [マップ番号:19]

市内7地区においてモデル区を選出し、その区の各家庭で節電を行います。結果を電力会社から送られてくる「電気量のお知らせ」で前年の月と今年の月の使用量を比較して各地区毎に集計します。取り組みが上手くできた区を「環境週間ひがしね」のオープニングイベントで表彰します。平成23年度は約200世帯で節電に取り組みました。

環境週間ひがしね



東根市 [マップ番号:20]

環境について考え、環境を意識した行動・生活を実践していくことを目的に、市民・事業所・行政が協力して開催しています。家庭で環境にやさしい取り組みを行った「環境ファミリー」の認定式や、地域で

節電の取り組みを行った地域版ISOの表彰式、環境に関する講演会、学校版ISOの活動発表会、企業の環境に関する取り組みの紹介等を行います。今年度は11/27～12/4の期間で開催し、約800名が来場しました。

東根市

MBH運動



東根市 [マップ番号:21]

できることから始める環境への取り組みとしてMBH（マイバッグ・マイ箸持参）運動を全市を挙げて行っています。マイバッグ持参率は約90%で、レジ袋の使用枚数が削減されています。また、市職員によるマイ箸持参運動の実施、ひがしねマイ箸クラブ登録制度、レジ袋削減推進店舗登録制度を設け、市商工会と協力して運動を広げています。

尾花沢市

廃食用油回収リサイクル事業



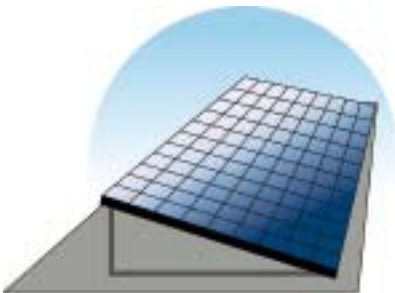
尾花沢市大石田町環境衛生事業組合・

尾花沢市 [マップ番号:22]

循環型社会の形成が求められていることから、管内で排出される一般廃棄物の減量化を推し進めるべく、一般家庭から排出される廃食用油を回収し、BDFとして有効活用を図っております。

山辺町

住宅用太陽光発電システムへの補助



山辺町 [マップ番号:23]

地球温暖化防止対策として、クリーンエネルギーである太陽の光を利用した住宅用太陽光発電システムを設置する方に対して3万円/kW（4kW上限）を助成し、環境に配慮した町づくりに努めております。また、町内の小学校2箇所に太陽光パネルを設置し環境学習の充実も図っております。

住宅用太陽光発電システム設置補助



中山町 [マップ番号:24]

中山町では、地球温暖化防止を推進し、太陽光エネルギーを利用した発電システムの普及を図るため、平成23年度から住宅用太陽光発電システムを設置する方に対して補助制度を設けました。補助金の額は1kW当たり30,000円（上限120,000円）です。

生ごみ密閉式処理容器購入設置補助事業



河北町 [マップ番号:25]

地球温暖化防止のため、一般家庭でもごみ減量の役割が求められており、河北町では、一般家庭から排出される生ごみの減量化と堆肥化による再生利用を促進するために、生ごみ密閉式処理容器の購入に対し補助金を交付しています。

2基で1組とし、補助額は購入価格の2分の1以内の額（3,000円限度）です。

太陽光発電システム設置補助事業



河北町 [マップ番号:26]

地球温暖化防止のため、一般家庭でも省エネ等の役割が求められており、河北町では平成23年度より太陽光発電システム設置費用の補助制度を設けました。

対象は、町内の住宅に設置するもので、国の太陽光発電導入支援対策により補助を受けたものとし、補助額は1kWあたり30,000円（4kW上限）です。

大江町

調理師による小学校の廃食油を利用した石けん作り



大江町教育委員会 [マップ番号: 27]

合成洗剤はなかなか分解されず、環境破壊を引き起こしたり、人体への影響も懸念されることから、大江町では平成9年から職員がリサイクル石けんの製造に取り組みはじめた。現在では小学校の調理師研修の一環として、毎年夏休み中に調理師が石けん作りを行っている。調理師も、普段子供たちの口に直接触れる食器を洗うのにより安全なものを使いたいという思いから、毎年熱心に取り組んでいる。石けんは学校だけでなく、役場庁舎や町の各施設等でも使用している。

舟形町

役場庁舎の温室効果ガス排出抑制と節電の取り組み



舟形町役場 [マップ番号: 28]

役場庁舎の蛍光灯120台を省エネタイプに変更。併せて西側・南側の窓に省エネフィルムを143.4㎡貼付、また、西側の一部にグリーンカーテン設置し温暖化対策に取り組んでいる（年間3.4t CO₂削減）。また、今夏は、エアコンの設定温度を28℃から29℃に引上げ、温・湿度計を各課に設置し室温管理を徹底。照明の間引き、電子レンジ・電気ポットの使用禁止、パソコンのディスプレイ照度を下げる、ノー残業デーに金曜日を追加、大量なコピー等はピーク時間帯を避ける等の取り組みを実施。

真室川町

エクセルギータウン真室川町における自然エネルギーによる環境対策



真室川町 [マップ番号: 29]

「エクセルギータウン真室川町」を標榜し、自然エネルギーの普及による地球温暖化対策事業等の取り組みを行っている。平成23年度は、役場庁舎南側の壁面に太陽光発電パネルを16枚張り付け、年間発電量約2,700kWhを見込んでいる。また、平成23年度から、家庭向けの太陽光発電装置の設置補助や、家庭向け薪ストーブ等利用拡大の補助を行っている。当事業を通じた環境改善によって、地球環境を救う活動を次世代に引き継いでいく。

フードマイレージ!地産地消『十割そば打ち教室』



置賜地域地球温暖化対策協議会 [マップ番号:30]

山形県地球温暖化防止活動推進センターとの共催により平成21年度からそば打ち教室を開催している。

子どもから大人まで参加でき、プロの指導のもと家族や仲間とそば打ちを体験できる。併せて環境講座で温暖化や地元産の食材を選ぶことが、CO₂削減につながることを学ぶ。使用するそば粉は地元米沢産100%である。これまでの3年間で6回開催し、200名以上の方が参加した。

ゴーヤのグリーンカーテン



長井市 [マップ番号:31]

2011年度、本庁舎・第二庁舎・保健センター・勤労センターの4施設にゴーヤーの苗を合計250本植え、収穫したものを市民課窓口に来庁された市民の方に無料配布した。25cm以上のゴーヤーを収穫し、1人2本まで9月いっぱい提供を行い、約1200本のゴーヤーを市民の方や団体に提供した。

目にも涼しいグリーンカーテンを設置することができ、地球温暖化防止活動を広く市民の皆様にお知らせすることができたと感じている。

川西町フレンドリープラザ雪冷房システム



川西町 [マップ番号:32]

川西町では、劇場や図書館などの大型複合施設「フレンドリープラザ」に、雪を使った冷房を導入しています。これは、雪国にとって“やっかいもの”であった雪を貯蔵し、夏に資源として活用するという古くて新しいシステムです。このシステムを導入したことにより年間約14トンのCO₂排出を削減しています。

川西町

住宅用太陽光発電設置補助事業



川西町 [マップ番号:33]

町では地球温暖化対策の一環として、新エネルギーの導入を積極的に進めるために、平成22年度から太陽光発電設置費用の補助制度を設けました。対象は、町内の住宅等に新規に設置するもので、補助額は、1kWあたり30,000円（4kW上限）です。平成22年度の交付決定実績は、23件になります。

小国町

木質バイオマスエネルギーの活用



小国町 [マップ番号:34]

小国町では、重油ボイラーを熱源として温水をつくり、役場庁舎の暖房、役場駐車場や一部町道歩道の消雪のため利用してきました。このシステムにおいて、平成20年度、本町の豊富な森林資源を活用できる「木質チップボイラー」を整備しています。化石燃料から木質資源へと熱源の転換を図るとともに、国全体の温室効果ガスの排出量削減に資する国内クレジット制度へ参画しています。

白鷹町

エコドライブ普及を中心としたエネルギー消費量削減の取り組み



白鷹町美しい郷づくり推進会議 [マップ番号:35]

白鷹町では、エコドライブの推進に取り組んでおり3年目になります。今年度は町議会議員全員にもエコドライブ講習会を受講していただくなど、町民に省エネ効果を実感してもらっています。また、町内の小中学生に呼び掛け、家庭から出る廃食用油の回収を行ったり、公民館などからの依頼に応じて省エネの出前講座も行っています。

ペレットストーブ導入促進事業



飯豊町 [マップ番号:36]

町では、木質ペレットストーブを普及促進することにより、木質バイオマスエネルギーの需要拡大の推進と環境に配慮した暮らしに関する町民意識の高揚を目的として、町内にペレットストーブを設置し、6年以上使用可能な方に、ペレットストーブ設置に要する経費の2分の1、20万円を限度に助成している。

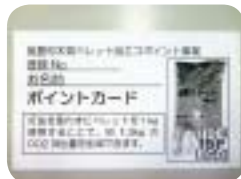
この事業は、平成20年度から開始し、平成22年度の実績は15件、2,637,000円の実績となった。

木質ペレット版エコポイント事業



飯豊町 [マップ番号:37]

町では、町内産木質ペレット1袋（15kg）の購入につき15ポイント進呈している。10袋購入し150ポイント貯まると、1,500円分の飯豊町商工会商品券と交換。平成22年度は32名が利用し、285,000円分の商品券が交付。灯油の代わりに木質ペレットを1kg使用する事で、1.3kgのCO₂排出量を削減でき、全体で約37,000kgのCO₂排出量が削減された。町内の木質バイオマスを利用し、エネルギーと経済の地域内循環を目指している。



協定書締結によるレジ袋の削減に向けた取り組みの実施

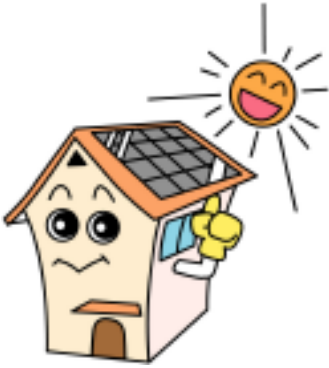


飯豊町 [マップ番号:38]

「私たちの身近なところから地球環境に配慮した取り組みを始めよう！」と、レジ袋削減推進協力店会・町衛生組合連合会・町消費生活研究会・商工会・町が、地球温暖化防止、資源・エネルギーの使用量の抑制及び廃棄物の減量を目指し協定を締結。マイバックの利用と貸し出し用マイバックを設置、減量を目指す。

酒田市

酒田市住宅用太陽光発電システム普及事業



酒田市 [マップ番号:39]

平成21年度より地球環境の保全に寄与するため、太陽光発電システムを設置する方に補助金を交付しています。同様の国の補助金の交付を受けていても対象となります。補助額は、太陽電池の出力1kW当たり3万円（初年度2万円）、最大補助額は12万円（初年度8万円）です。補助実績は、21年度が50件、22年度が45件でした。

酒田市

BDF生成活用事業



酒田市 [マップ番号:40]

平成19年7月より地球温暖化防止と資源循環型社会の実現を目指し、これまで「もやすごみ」として処理していた家庭の廃食用油を分別収集し、BDF（バイオディーゼル燃料）を生成しています。平成22年度は約2万リットル生成し、軽油の代替燃料としてごみ収集車など14台に使用し、二酸化炭素と経費の削減に繋がっています。

酒田市

緑のカーテン事業



酒田市 [マップ番号:41]

平成20年度から省エネ・地球温暖化対策として市の施設に緑のカーテンを設置しています。平成22年度からは、市民の皆さんや事業所の方からも取り組んでいただくために、ゴーヤの苗約3,000株と育て方の手引を無料で配布しました。また、コンテストを開催したところ、平成23年度は22点の応募があり、7点を優秀賞として表彰しました。

庄内町小中学校省エネチャレンジ事業



庄内町 [マップ番号: 42]

庄内町の小中学校では、子ども達が電気・水道使用量の削減目標を設定し、無駄なく使うために、学び、調べ、計画を立て、実践することで、学校での活動から家庭への波及につとめています。期間は夏(7月～9月)と冬(11月～1月)で、電気・水道の省エネ結果によって、結果毎に区分された報奨金を進呈し、各児童会・生徒会活動の一部に充ててもらっている。

キャンドルナイトinしょうない



庄内町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号: 43]

当協議会では、「庄内町町民節電所事業」への参加呼び掛けと、地球温暖化防止活動の普及も併せて、二俣農村公園「ほたるの里」を会場に、地元の小学校の児童達が育て、放流した蛍の飛ぶ時期に合わせて開催。

今年は多くの蛍が見られ、竹で作った懐かしさを感じさせるキャンドルの光と、蛍の放つ光との幻想的なコントラストの中、声楽やフルート、ピアノによる野外音楽会も行われた。

廃植物性食用油の集団回収(BDFのごみ収集車燃料利用)



三川町及び三川町衛生組織連合会 [マップ番号: 44]

全町内会に回収ボックスを設置し、毎月1回事業者による廃食用油の回収を行っている。回収された廃食用油はBDFに精製され、町ではそのBDFを購入してごみ収集車を運行することで、リサイクルシステムの確立とごみ減量化、地球温暖化防止を図るものです。

三川町

協定書締結による「レジ袋無料配布の中止」運動



三川町及び町内商店 [マップ番号: 45]

ごみ排出量の削減と地球温暖化防止を目的に三川町、各種団体並びに事業者が協働し「レジ袋の大幅な削減に向けた取組みに関する協定書」を締結し、平成20年10月1日から協定を締結した店舗においてレジ袋の無料配布を行わないこととした。

三川町

住民参加型「空き缶回収処理システム」



三川町及び町内会 [マップ番号: 46]

町内会に設置した回収ボックスに各家庭から排出された空き缶を投入し、事業者が回収を行っている。平成22年度に、全町内会への設置を完了した。ごみの減量化とリサイクルの推進を図る一方で、売却益は町内会の収入となり、町内会単位での温暖化防止に関する啓発事業にも役立てられている。

三川町

資源ポストによる、資源リサイクルの推進



三川町及び

三川町衛生組織連合会 [マップ番号: 47]

毎週日曜日の午前中に資源ポストを開設し、これまでは粗大ごみとして処理していた廃家電や自転車、衣類等を回収している。既設の古紙、びん、かんを対象とした資源リサイクルステーションと併せて、より一層の資源リサイクルの推進を図るものである。

役場庁舎グリーンカーテン設置



三川町 [マップ番号:48]

町民に対する地球温暖化防止の啓発と役場庁舎のCO₂排出量削減のため、庁舎南側壁面にゴーヤーによるグリーンカーテンを設置した。

定植から栽培管理、収穫まで、全て職員によるボランティアで実施し、収穫したゴーヤーは来庁者へ無料配布し好評を得た。

廃プラスチック卓上油化装置を活用した出前講座(エコ出前教室)



三川町地球温暖化対策地域協議会 [マップ番号:49]

町所有の廃プラスチック卓上油化装置を活用し、ペットボトルキャップの油化の実演を行っている。

小学校を対象とした環境教育の他、町内外の各種イベントにも出展し、プラスチック製品が化石燃料から作られていることを確認してもらいながら、ごみの分別とリサイクルの重要性を説明している。

風力発電事業



遊佐町 [マップ番号:50]

遊佐町では、2010年に民間企業が7基の風力発電の売電事業をスタートさせた。

2011年夏には、遊佐町海岸にさらに1基が建設され運転開始となった。運営主体の民間企業と町との共同申請によるも

ので、地域の豊かな資源を活用し温暖化防止に貢献する町として普及啓発を行う。この8基で約4500万kwh/年発電し、遊佐町で使用する電力の半分以上をまかなうことができ、エネルギーの地産地消が進んでいる。

遊佐町

遊佐町小中学校フィフティ・フィフティ事業



遊佐町 [マップ番号:51]

もとはドイツで始まったプログラムで、小中学校で児童・生徒や教職員が協力して省エネ活動を行い、節電した光熱水費を町の財政に戻すのではなく、半分はその学校に還元する仕組み。

児童生徒自らが電気・水道の省エネ目標を設定し行動することで、学校における環境教育と地球温暖化防止に向けた省エネ活動の一層の推進を図ることを目的としている。子供達の環境学習により、家庭への波及も期待される。実施期間は平成22年度～24年度。

遊佐町

マイクロ水力発電調査事業



遊佐町 [マップ番号:52]

平成22年度に、原口プランの一環として、「緑の分権改革事業」において、実証実験に取り組んでいる。一般の用水路において、常時流量を超した余裕部分を活用して簡易に発電することを目的とした新しい発電方式である。現在、遊佐中学校敷地

内の通学通路にLED4灯を設置し、平成23年度も引き続き実証実験を行っている。これからも、水力発電機のデータを積み上げて、水位の安定確保などの問題点を解決し、さらなる需要の拡大を視野に入れながら、その実用性に向けた可能性を探っていく。

山形市

環境出前教室



NPO環境と食農研究会 [マップ番号:53]

各地域や小学校にて環境出前教室を開催。

地球温暖化の話やマイ箸製作による森林伐採の恐さを教え、自作絵本の読みかせによる「もったいない文化」の継承、「おはしのマナー教室」による、箸文化のすばらしさを子どもたちに教えている。



特定非営利活動法人ビルトグリーンジャパン [マップ番号:54]

当NPOは昨年度より、省エネに取り組む県内企業を対象に建物の『無料省エネ診断』を実施しています。山形県内全域をカバーし、昨年度は120事業所を行い今年度は215事業所を目標としています。診断の内容は、事業所が消費している年間CO₂排出量を策定し、現状の設備機器の仕様を踏まえCO₂の削減提案を行います。昨年は合計約1000tレベルのCO₂削減を提案できました。



やまがた木質ペレット利用研究会 [マップ番号:55]

国内でハイレベルのCO₂の排出削減目標が設定されていますが、温暖化対策としてのCO₂排出権取引はいろいろな分野に波及しています。

農業用、施設用ペレットボイラー、家庭用ペレットストーブ利用者の組織化を進めながら、取引成立を目指しています。平成22年度のペレット出荷量実績は625tなのでCO₂をおよそ750t削減したことになります。



社会福祉法人 走翔会 [マップ番号:56]

障害者の就労を支援する福祉作業所の活動の一環として、平成18年度から廃食油を利用してバイオディーゼル燃料（BDF）製造を行っている。BDFは、年間8千～9千リットルを生産。上山市が一般廃棄物と一緒に市民等から収集した廃食油からBDFを製造し、法人が就労活動として取り組んでいる農作業で使用する農機具の燃料として使用している他、市内建設会社に販売し建設現場で使用する重機等で使用している。ごみの減量・リサイクルと障害者の就労支援及び環境配慮について、行政と福祉作業所と事業者が連携している。

東根市

庭先発電所～防犯・防災ステーション計画



NPOひがしね [マップ番号:57]

手づくり太陽光パネルの制作及び、その活用について実証実験に取り組みました。停電時、パソコンや電話機等に電気を供給する無停電電源装置（UPS）として又、乾電池の充電、公衆の路灯、屋外の集会では拡声器、音響に十分役立ちます。写真は、リンゴ畑の害鳥を追い払う（鳥追い機）の電源として使用しているところです。今後は、貸し出しにも応じたいと考えています。

大蔵村

ペットボトルの再利用、廃油の活用



四ヶ村棚田ほたる火コンサート実行委員会 [マップ番号:58]

大蔵村四ヶ村地区では、毎年8月に日本の棚田百選のひとつ「四ヶ村の棚田」を会場に「四ヶ村棚田ほたる火コンサート」を開催しています。「ほたる火」とは空のペットボトルにろうそくを立て、火を灯したもので、地区の各家庭で使用され廃棄されるものを収集し、再利用しています。また地元の小学生が給食で出た廃油を利用してキャンドルをつくり、会場を照らしています。

飯豊町

「ひまわりを育てて、食と環境・未来を考えよう！」プロジェクト



ふるさと飯豊発見隊 [マップ番号:59]

ひまわりの栽培を通して、花があふれる明るいまちにするとともに、ひまわりの種から搾油した油と市販食用油との天ぷら食べくらべや廃食用油を使ったエコキャンドルづくりを実施。中学生の総合学習でひまわり栽培に取り組むなど、環境と地産地消、「食」への関心を高める活動を展開中。

鶴岡市

第6回いのちのコンサート～森と水そして月光のしらべ～



特定非営利活動法人 森と水 [マップ番号:60]

鶴岡市月光の広場（月山ダム湖畔）を会場に大自然と音楽が融合した屋外コンサートを開催。大自然の中で芸術に触れ、自然に感動することで、その自然を守るための温暖化防止、環境保全への意識啓発を目的としたコンサートでは、キャンドルナイト

でステージ・客席を演出した事で、会場全体が幻想的な空間となった。また第6回の2011年は、東日本大震災の被災者を招待し追悼と復興への願いも込めた。

酒田市

地域の子どもたちへの環境学習～こども環境学習ひろば～



庄内環境マネジメント研究会 [マップ番号:61]

地域の小学生を対象とし環境学習と工作をセットにした「こども環境学習ひろば」を開催しています。地球温暖化や水の保全について学習するとともにソーラーカー工作や廃油ろうそく作りの体験学習をしています。今年度は多くの人が集まるイベント（環境フェアつるおか、さかた産業フェア）で実施することで節電にも配慮しました。

遊佐町

小中学校の廃食油を利用したせっけん作り



JA庄内みどり女性部 せっけん研究会 [マップ番号:62]

平成5年から粉せっけんと固型せっけんを作っている。

町内の小中学校の廃食油を年間約600リットル回収し、1,800kgのせっけんを製造している。

環境汚染問題と資源の再利用を考えて、廃食油を原料にして作った粉せっけんである。石けんは、微生物のエサとなって、分解されるので水を汚しません。きれいな水と健康のために石けんを使いましょう。

山形市

本店ビルと小白川支店に太陽光発電設置



山形市農業協同組合 [マップ番号:63]

JA山形市本店はビルの屋上に84ワットのソーラーパネル486枚設置、1時間当たり最大約40キロワットを発電する。年間で約35,000キロワットになり高所用の発電装置としては最大規模。小白川支店は12キロワットを発電し年間で約13,000キロワット。JA山形市は、環境問題への取り組みは、社会的責任（CSR）であり、組合員・地域住民の想いは同じとし、両店舗を「環境重視施設」として発信している。

山形市

七日町商店街BDF事業



七日町商店街振興組合 [マップ番号:64]

商店街から出るかつては産業廃棄物として捨てていた使用済てんぷら油を商品の運搬車等々に利用できるバイオディーゼル燃料にすることで、当商店街が進める7代先まで続く持続可能な地域づくりの実現に向けて取り組みを始めた。

現在商店街内飲食店はもちろん山形市内の多くの飲食店から使用済てんぷら油の提供を頂きながら、市長公用車や山

形市ゴミ収集車にも給油されている。小規模作業所との連携で業務の一部の委託を始めた。

そして、ポイントカードや駐車券サービスにより、中心商店街の活性化に繋がる取り組みとなっている。

山形市

家電製品の省エネな使い方及びエコ商品普及



山形県電機商業組合青年部 [マップ番号:65]

毎年、環境マイスターの研修会を行い、家電製品を通して省エネに通じる情報をお客様に訪問した時にPRをしたり、出前講座で地域の方々にPRをしている。環境フェア等にも積極的に参加してPRを行なっている。平成22年度は、家庭の省エネ診断事業を、山形県地球温暖化防止活動推進センターと協力して実施し、家庭での温暖化防止の取組みを促した。



トヨタカローラ山形株式会社 [マップ番号:66]

国土交通省「環境に優しい自動車販売店・整備事業場」認定に挑戦し、05年全店全国初認定表彰される。環境マイスターの認定者数は県内最大であり、エコドライブ教室を開催している。本社に大規模な太陽光発電（40kW）を設置、天童店に廃油ボイラーによる「無散水消雪設備」を導入。その他、環境問題に関して小学校にて出前講座などを実施したり、来店頂いた方に無料でタイヤの空気圧の調整を行ったり、社員でもペットボトルキャップ回収活動等を行っている。



山形県サッシ・ガラス協同組合 [マップ番号:67]

“CO₂削減の為、エコ窓に変えよう” をキャッチフレーズに4年前から県内全域で活動。一昨年エコ窓に改修したお宅（45戸）の後追い調査を実施。全体改修した15物件で削減見込み4847kgCO₂/年に対して7906kgCO₂/年の削減になり、当初見込みよりはるかに削減されていることが分かった。又、1部屋等の小規模改修はさらに効果があることも分かった。この事を建築業者に説明し断熱住宅（窓）の普及に努めている。環境マイスター研修も毎年実施している。



TUY 株式会社テレビユー山形 [マップ番号:68]

TUYでは、エコと地球温暖化防止のレギュラー番組「山形エコプロジェクト えこいろ」を立ち上げ、2009年6月から放送しています。毎週月曜の夜6時50分から放送の7分間の番組で、毎回一つのテーマを設け、県内で取り組まれている大小様々なエコ活動や温暖化防止に関連する情報を紹介しています。県民一人一人のエコへの関心が身近なものとなり、その取り組みが普段の生活の中から自然に生まれることを目指し、身近な目線で番組をつくっています。

天童市

自然エネルギー（太陽光発電）を利用した救援活動や学習会の開催



ソーラーワールド株式会社 [マップ番号:69]

地球温暖化問題を入れた環境問題の学習会や、実際に太陽電池パネルや風力発電機などの自然エネルギー機器を使用した講座を開催している。市民の方と一緒に自然エネルギーの普及はもちろん、エコな生活を身につけることを提唱している。

2011年は「つながり・ぬくもりプロジェクト」に参画し、東日本大震災の被災地で電気がとれない地域に太陽光発電を無料で設置した。山形県立東根工業高等学校などとバングラディッシュなどの発展途上国へ技術指導も行っている。

河北町

古紙回収を通じての環境保護活動



港屋商事株式会社 [マップ番号:70]

古紙回収を通じての環境保護活動として、ガソリンスタンドに顧客が古新聞・古雑誌などの古紙をまとめて持ち込むとガソリンを値引きする取組みを平成20年から実施。

古紙はリサイクルのルートに乗せ、専門業者の買取で得た益金を活用し、平成21年には西村山・最上地区の全小学校へ環境に関する絵本を寄贈した。さらに、平成22年には河北町に電動スクーターを2台寄贈した。

舟形町

バイオマスを燃料とするボイラーの新設



有限会社 舟形マッシュルーム [マップ番号:71]

当社では、キノコ栽培施設に木質チップボイラー（出力500kW）を導入しました。この木質チップボイラーの導入により、H22年3月、国内クレジット制度の排出削減承認を得ており、CO₂の排出量を企業等と取引することも可能となりました。また、CO₂排出削減量は、359t/年になります。



中津川バイオマス株式会社 [マップ番号:72]

平成21年11月操業し、ペレットや薪の燃料等の生産を行っている。ペレットは、置賜地方のペレットストーブに供給。平成22年度は、ペレット185tを生産（薪は20m³）。これは、灯油使用時より188,223kgのCO₂削減に寄与することになる。ペレ

ットは350t/年、薪は200m³を目指している。ペレットや薪を利用することは、ナラ枯れ予防、樹木の若返りを促しCO₂の削減に寄与する。

全員の協力で目標達成出来ました。



田中貴金属工業株式会社 鶴岡工場 [マップ番号:73]

田中貴金属工業(株)鶴岡工場では電気製品に欠かせないプリント配線板を製造しています。

2010年よりTANAKAグループ10事業所のCO₂削減のモデル工場として委員会を組織し活動を推進してきました。

全従業員320名の取組み、委員会の専門的な活動で昨年度比10%の削減達成、今年度はさらに10%の削減で推移し温暖化対策に取り組んでいます。



株式会社 山形ケンウッド [マップ番号:74]

1999年12月環境ISO14001認証取得を機に環境マネジメントシステムに沿って每期削減目標を設定し省エネ活動に取り組んでいる。更なる削減を目指し2004年6月弊社も参画する庄内環境マネジメント研究会による「省エネパトロール」を受診。2010年度実績は、1999年度比53%のCO₂削減になった(717/1,529t-CO₂)。写真は、今年度実施の山形県電力測定事業での配電盤毎測定の様子。

鶴岡市

地域資源活用リサイクル事業



株式会社 渡会電気土木 [マップ番号:75]

当社では、地域の黒松間伐材等を原料とした木質ペレット燃料を年間約640t（平成22年度実績）生産し、地域に供給しております。化石燃料の代替燃料としてCO₂換算で約768tの二酸化炭素削減している事になります。また伐根等の木質チップをリサイクル利用した臭いのしない各種プランター用土並びに土壤改良材、木質ペレットを利用する農業ハウス用ペレットストーブの開発販売、経験を生かした木質ペレットプラントの設計・施工と、環境に優しい事業展開を押し進めております。

酒田市

環境に配慮したホテルづくり



ホテルリッチ&ガーデン酒田 [マップ番号:76]

ごみのリサイクル推進により、3年間でゴミの処分量を半分に減らすことができました。また全客室のシャワーヘッドを節水型にすることで10%の削減に成功しました。生ゴミは微生物の力で水にまで分解して排水する機械を導入し、レストランでは地元農家と連携した地産地消の取り組みを進めています。

2009年5月国際的エコラベル「グリーンキー」取得。

山形市

山工ECO活動



山形県立山形工業高等学校 [マップ番号:77]

廃食油から合成したBDF燃料やキャンドルを活用し、「桜のライトアップ」「とっておきの音楽祭」「キャンドルスケープ」といった啓発のための様々な活動に参加した。また、「山形花笠まつり」「薬師まつり植木市」後の清掃ボランティアでは、毎年200名を超える応募があり、今年度は「ごみゼロ推進功労者」表彰を受賞した。

村山市

ひまわり油できれいでおいしく豊かなエコ生活 ～1株100花咲くひまわりを創ろう～



山形県立村山農業高等学校 農産技術部 [マップ番号:78]

平成20年4月から1株に100以上の花蕾着生を目指し育成開始。平成23年9月、遺伝的に固定されたひまわりの創出完了。油はイタリア料理の他、揚げ油としても使用。使用後の油からBDFを生成。本校のハーベスタ等農業機械の燃料として使用中。下表は、搾油用ひまわり「春りん蔵」(市販のもの)と、「自家採種A」(創出したもの)の生育比較。

品種	草丈	花蕾数	1株種子重	1株搾油量/含油%
春りん蔵	150cm	1	140g [※]	51.8g [※] /37%
自家採種A	350cm	167	280g [※]	98.0g [※] /35%

事務局の紹介

参考

「環境マイスター(自動車)による普及啓発活動」～地球にやさしいカーライフの提案



一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 山形県支部

「環境マイスター」事業も7年目を迎え、販売スタッフ・整備士等、これまで合計571名を「環境マイスター」に認定、自動車に関する情報提供は基より温暖化防止に対する知識も深め、より身近なアドバイスをしております。本制度は「山形モデル」として定着し、神奈川・東京に続き、今年は長崎・熊本においても展開、更に青森・長野・大阪等においても導入を検討など、全国的な環境保全に関する意識の高まりを感じています。

参考

第5回「県内縦断エコドライブオリエンテーリング」開催



特定非営利活動法人山形県自動車公益センター

「簡単に取り組めるエコドライブの普及推進」を目的に開催して参りましたオリエンテーリングも5回目となり、事業としての定着とともに「エコドライブ＝環境にも人にも優しい運転＝安全運転」であるという認識が深まりつつある事を感じられるようになって参りました。平成23年度のオリエンテーリングでは、6月27日(日)に山形・酒田・米沢・新庄の各4コースからの出発にて開催、合計で164台/489名の皆様よりご参加頂きました。今後とも、色彩豊かな山形を未来の子供たちに継承され、「より環境・人に優しい山形」でありますようお願いを込め、継続したエコドライブの普及推進に努めて参ります。

参考

ネットヨタ山形株式会社のエコと地域貢献活動



ネットヨタ山形株式会社

ネットヨタ山形株式会社では、エコと地域貢献に関わる活動を行い、地域の自然や人との関わりを大切にしています。

1、環境マイスターがエコカーライフをサポート！

各店にいる環境マイスターは、環境問題のプロフェッショナル！お客様へのエコドライブのアドバイスやエコカーご購入のサポートをしています。

2、環境に優しい自動車販売、整備事業所

整備工場などから出る産業廃棄物を適切に処理。環境を考えたお店作りで、東北運輸局長及び東北運輸局山形運輸局長より全店舗が表彰されました。

3、街をきれいに！お店をきれいに！

毎朝全社員で店舗周辺を清掃。また、歩道に花を植えて地域を明るくしています。

4、エコキャップ運動に取り組んでいます！

全店でペットボトルキャップを集めています。そのまま捨てればただのゴミ。リサイクルすることで、子供の命を救い、CO₂排出削減に貢献しています。



5、やまがた社会貢献基金で山形を元気に！

2008年より『やまがた社会貢献基金』を通じて山形県内で『人にやさしく、自然を大切に』をテーマに活動する団体を支援。社員も参加し、地域活動のお手伝いをしています。

6、地域スポーツ団体のバックアップ

モンテディオ山形への車両寄付や、(財)エンドー学事振興会による各団体への寄付、またエンドー杯ソフトバレーボール大会の開催などを行っています。

7、子育て応援パスポートに協賛

子育て応援パスポートを提示いただくと、整備入庫の際にメンテナンスなどのサービスをさせていただきます。

8. その他

◎東日本大震災復旧作業のお手伝いに、延べ180名が石巻と名取に。また、山新放送愛の事業団へ、社員から募った義援金を寄付させていただきました。

◎平成23年7月に皇太子殿下ご臨席のもと山形ビッグウイングで開催された『第47回献血運動推進全国大会』において、日本赤十字社山形県支部へ献血事業用車両として『プリウス』を1台寄贈させていただきました。



ストップ温暖化 「エコカップ やまがた2011」 活動事例集

【製作（主催）】

ストップ温暖化「エコカップ やまがた2011」実行委員会

【後援】

山形県

ネットトヨタ山形株式会社

【事務局】

NPO法人山形県自動車公益センター

山形県地球温暖化防止活動推進センター



【本冊子についての問合せ先】

山形県地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 環境ネットやまがた)

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37

TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3389

E-mail eny@chive.ocn.ne.jp ホームページ <http://eny.jp>

※各団体の連絡先は、事務局（山形県地球温暖化防止活動推進センター）までお問い合わせください。